



5月17日は、消防訓練でした。
上松町では、1950年5月13～14日の大火で600戸余りが焼失した歴史があります。
避難や消火についてしっかり学びましょう。



「火事だー！」と火事を知らせながら、消火。
訓練生全員が消火器を操作して、消火訓練を行いました。



今年度は煙体験も行いました。
壁沿いに床を這うように出口まで移動しましたが、煙で周囲が見えず、呼吸も苦しく、速やかな避難が大切だと感じます。



校に設置されている屋内消火栓の操作方法も学び、放水を行いました。
放水の水圧による事故を防ぐための注意事項など、知っていなければ消火栓を使用するのは困難です。
しっかり覚えて、いざという時に役立てたいです。



木曾消防署、上松町消防団の方には、避難や消火の指導の他にも、訓練生からの質問に、丁寧な回答をいただきました。
お忙しい中、ありがとうございました。



消防訓練後、寮生は、寮の消防設備を、通校生は、校内の消防設備を確認して回りました。
写真は、木材倉庫の消火器の設置場所を確認しているところです。
上松技専では木材と塗料を扱うため、火の手が上がれば、危険な火災に繋がる恐れがあります。
普段から火の元に気を付けて、火災防止を意識していきましょう。